

第69回企画展

いわての野良着

～ 先人の合理的な仕事着に学ぶ ～



平成28年7月3日(日)～平成28年9月25日(日)

岩手県立農業ふれあい公園 農業科学博物館

岩手県内には、昭和 30 年代まで麻を栽培し、糸を紡ぎ、織り染め、縫製まで手作りしていた地域がある。

雫石町御明神地方や旧玉山村で用いられた野良着は、その土地の風土と作業形態に合わせて考えられたもので、合理的で、しかも美的。その紺^{かすり} 紺^{かすり} や被りものの色合が自然の緑と調和して、素晴らしい色彩をなしている。

これは、何百年もの間、親から子へ、またその子へと引き継がれてきた風習で貴重な文化財である。女たちは長い冬の雪にうずもれた暮らしの中で、野良着の製作に励み、娘たちは嫁入りの手習いに、母親からその手ほどきを受けた。一方、男たちもミノ、ケラ、ワラジを作った。こうして春には思い思いの刺繍をあしらった野良着が晴れ着としてまとわれ、青田のなかに揺れ動く姿は若者たちの目を引いたものである。

手作りのあたたかさ、合理的で経済的な裁断法と仕立て、機能的で装飾的な野良着は、省資源の重要性がさげられる今日、参考になるものがある。今回の企画展は、先人の知恵から仕事着に必要な考え方、物を大切にする心を学ぶ機会とする。



マダゲラをつけた雫石あねこ



スツパ



手甲

岩手県立農業ふれあい公園
農 業 科 学 博 物 館

北上市飯豊 3-110 TEL:0197-68-3975

開館時間／9:00～16:30(入館は16:00まで)

休館日／月曜日(月曜日が祝日の場合は直近の平日)

入館料／一般300円 学生140円 高校生以下は無料

団体割引等(20名以上)あります

駐車場／大型バス12台 普通車240台 身障者専用5台